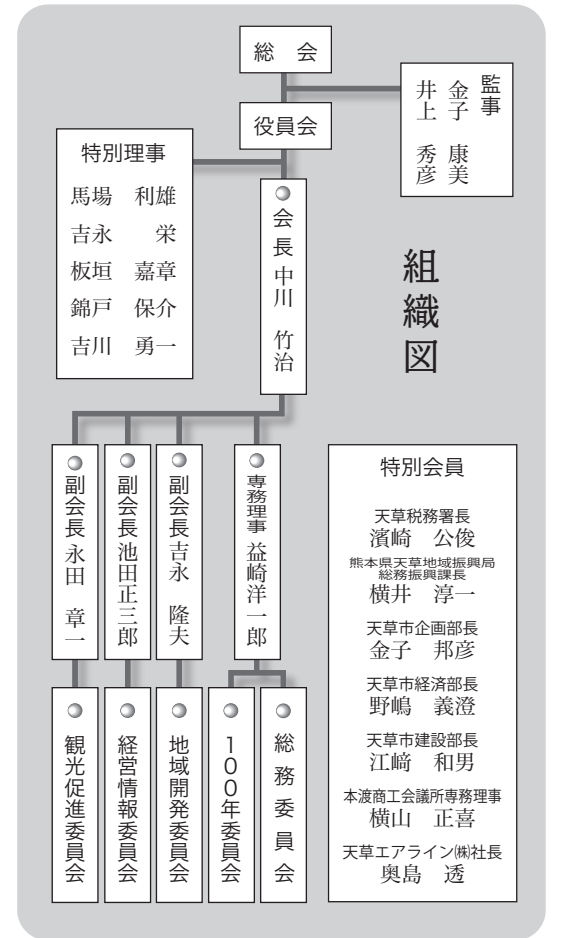




地域開発委員会

委員長 明瀬 実

【活動計画】

近年、全国各地で港を拠点とした地域づくり「みなとオアシス」が展開されています。私達の住む「宝の島天草」も、周りを豊かな海に囲まれ、昔から私達の暮らしと海は深く結びつき、多くの恩恵を受けてきています。当委員会は、昨年に引き続き「海、港を生かした地域づくり」をテーマに天草づくりを考えていきます。

一、港夢おい談議

① 港の利活用・将来像等、地域住民が主体となり各種団体との懇話会を行う。

② 住民協議会を立ち上げ、より具体的に「みなとまちづくり」の将来像と、今後の方向性等を模索していく。

③ 住民協議会で「みなとまちづくり」の取り組みを、より具体的に模索し、より具現化していく。その成果を行政に提出し、港湾計画の改正に対し反映して頂く様をお願いをしていく。

二、住民協議会と行政とのパートナーシップや情報の共有化

① 行政とのパートナーシップ

② 地域住民や各種団体が同じ情報を共有できるような環境を整えていく。

三、これからの地域（天草）づくりのモデル事業として捉え天草の活性化につなげていく。

100年委員会



委員長 山本 博

【活動計画】

同友会の若いメンバーを中心に、外部からも同志を集め、過去、現在の天草を知ることから始め、未来の天草を創造していきます。

【委員会PR】

『天草の100年を、若い世代で考える』というコンセプトのもと、中川会長

の肝いりで今回初めて創られた委員会です。講演会だけでなく、天草各地で張っている若者のネットワークを築く事が出来るように、天草各地で勉強会を開催出来ればと思っております。今まで頑張ってきた来られた諸先輩方とは経験も知識も全然ありませんが、若い世代の柔軟な考え方と、軽いフットワークを活かし、同友会の枠を超えて、これからの天草を考える行動する人物を二人でも多く発掘、輩出する事が出来るよう、一所懸命がんばります!!!!



委員長 野上 俊樹

【活動計画】

総務・会計と年数回の会報発行・1月開催の新年パーティの企画運営、年間を通しての会員増強への取組。

【委員会PR】

総務委員会としましては会のスムーズな運営が図れますよう、事務局員スタッフの平田さんと連係を密にして、委員会活動にあたりたいと思います。月並みではございますが、出欠案内など、

会からの依頼ごとに関しましては迅速なご対応をよろしくお願い申し上げます。また例年の活動に加えて本年は新たに機関誌の発行を実行してまいります。委員長様をはじめ役員の皆様には幾度となく記事の作成を依頼することになりますが、各委員会の情熱と、発刊に中心となつてご努力いただく渡辺副委員長のスキルと笑顔で素晴らしいものができあがることを期待しております。よろしくお願い申し上げます。

最後に天草経済開発同友会がますます発展しますよう、会員の増強に努めて参ります。皆様のご協力を重ねてよろしくお願ひ申し上げます。

経営情報委員会



委員長 野上 勝弘

【活動計画】

これからの企業・組織・社会また個人にとって、情報技術の利用は、ますます重要になってきます。経営情報の趣旨は、情報やコミュニケーションと経営の接点に関心を持ち、情報及び情報技術の活用に関する場を提供していきます。

【委員会PR】

現在、環境問題やグローバル化の進展、さらに急激な不況によるビジネスの縮減などに対する企業マネジメントの迅速な課題対応

応が求められている。われわれは、その課題対応のひとつとしてのイノベーションは、「技術革新」として狭く捉えるのではなく、「新たな組み合わせ」による変革として捉え、企業継続の危機的状況における今こそ求められる解決策のひとつであると考えます。このようなイノベーションについて、企業・組織などの方や人のあり方、情報の認識や取扱のあり方という視点から運動・活動を行います。

当委員会の目的は、組織が変革を続けていくためのイノベーションの新たなあり方を組織活動、人および情報の視点から学ぶことにより、実社会に活かしていくための指針を探索することであり、この目的は現在の危機的状況における一時的なものだけでなく普遍的な課題でもあると捉えています。

観光促進委員会

委員長 横島 龍一

一昨年より、市観光課と観光協会の三位一体で事業を進めておりますが、その時その時の事業内容は濃くても、実際に結果として残っているのかといえは実際そうではないのです。意識の高揚としては良い仕掛けだったかもしれませんが大きなうねりとはなっておりません。実際誰がするの?ここです。

これまでは、大きな枠の中で目標を持つために、観光ブランドメッセージを考えてきましたが、これも観光協会で活かされている

のかという残念ながら「ノー」です。(市の観光課では、今年の中長期ビジョンの中で活かされることですが)要は、私も含めて人ごとなのです。これでは、良くなるはずありません。

さて、それではどうすれば、良くなっていくのか。今年考えていこうと思います。また、今年の取り組みとして、別角度から具体的に観光素材を取りあげ、それをいかにしたら魅力あるものに出来多くの観光客の方々が来て喜んでリピーターになって頂けるのかを考え提案したり、実際に行動していく一年にもしたいと思います。もちろん、観光協会、市の観光課と協力しながら共に活動を行っていきます。よろしく願ひ致します。

6月 委員会報告

本渡港まちづくり



地域開発委員会 委員長 明瀬 実

全国で展開中の「みなとオアシス構想」をご存知でしょうか。国土交通省が「みなとオアシス」として認定登録を行い海と港を活かし地域の活性化につなげていく取り組みですが、本渡港もその位置づけの中で地域づくりができないか模索してききました。



そこで昨年、成功している「唐津みなとオアシス」の渡辺氏を迎えご講演をいただきました。その時のお話の中で心に残っていることが「地域が主体となった組織(港まちづくり懇話会)を結成し計画から実施まで

かわつていった中で、幾度となく困難があったが、その壁を乗り越えることができたのは、その人々(地域)の熱き思いであった。その思いが最終的には県や国を動かしたというお話しでした。今、私達に一番欠けているのは、本渡港まちづくりにかける熱き思いではないでしょうか。また、その中で今尚本渡港をどの様な方向にもつていきたいのかといった目標、ビジョンといったものも見えてきません。

そこで、今回、安田市長をお迎えし、宝島天草づくりの中での本渡港の位置づけや本渡港を活かした地域づくりにかける思いというものをお話いただきました。

これからが私達の出番です。市長の考えをふまえ私達がどうかかわり行動していくかです。先ず一つは、地域の皆様方が暮らしやすい本渡みなとまちづくりを行っていくかです。もう一つは、天草の中の本渡港という位置づけのなかで、本渡みなとまちづくりをどう進めていくのかです。どちらの、まちづくりにしても唐津の皆様のように、そこに住む私達が「どの様な港まちづくりを行っていききたいのか」まちづくりにかける熱き思いと、港をどうしたいのかという目標やビジョンといったものを明確にし行動していくことが大切ではないでしょうか。当委員会もこの本渡港まちづくりをこれからの天草(地域)活性化の一つのモデル事業と捉え、かかわっていきたいと考えています。